

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)みのおサンプラザ1号館建替計画 新築工事	階数	地上11F	
建設地	大阪府箕面市箕面	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	405 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2025年6月26日	
敷地面積	2,941 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計	
建築面積	1,761 m ²	確認日	2025年6月26日	
延床面積	17,367 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計	

2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂（温暖化影響チャート）

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

	建設	修繕・更新・解体	運用	オフサイト	オフサイト
① 参照値	100%	0%	0%	0%	0%
② 建築物の取組み	67%	0%	0%	0%	0%
③ 上記+②以外の	67%	0%	0%	0%	0%
④ 上記+	67%	0%	0%	0%	0%

(kg-CO₂/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）

2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

項目	スコア
音環境	2.7
温熱環境	2.2
光・視環境	2.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

項目	スコア
機能性	3.1
耐用性	3.1
対応性	3.4

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア = 3.5

項目	スコア
生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

項目	スコア
建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

項目	スコア
地球温暖化	4.3
地域環境	2.9
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ZEH+M Oriented取得予定であり、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えるよう努めた。		特になし。
Q1 室内環境 規制対象外となる建築材料を全面的に使用し室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 事務所、住戸で十分な階高を有し、空間の形状や自由さに配慮している。	Q3 室外環境（敷地内） 地域の生態系に悪影響を及ぼす外来種に関し適切な対応を行っている。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能基準」等級5を満たし、換気DCモーターやLED照明の採用により省エネルギー性向上に努めた。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上りが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。

【建物概要】 建物名称		(仮称)みのおサンプラザ1号館建替計画 新築工事					
建設地		大阪府 箕面市箕面					
用途／区分		集合住宅 事務所 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
						5	
④	エネルギー消費性能					5	
						3	
						5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告						対象外
-------------	--	--	--	--	--	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		